

みどり市議会の構成決まる

正副議長就任あいさつ



副議長 宮崎 武



議長 杉山 英行

令和5年5月15日の臨時会におきまして、自身2回目の副議長に就任させていただきました。

議長を補佐し、議員間の調整やスムーズな議会運営、みどり市民よりいただいた負託にお答えできるよう尽力してまいります。

さて、地方議会に対する期待度を全国レベルで考えた場合、市民の声は、意見や要望を聞く機会を設けて

議長に就任し、重責を担うことになり身の引き締まる思いです。選良として市民の負託に応えるため、円滑な議会運営に努めてまいります。

行政施策推進のため、議会は幅広い年代の議員で構成されているので合意形成を図ることが大変重要です。行政課題が山積する中、議会としても執行部と緊密に連携して市民の皆さ

まの福祉の向上、満足できる行政を議会の機能をいかし、行政の公正、適切な執行体制などに注視してまいります。

現在進めている、健康増進のためのかたくりの湯温泉施設整備事業、保養型のサンレイク草木整備事業、国や県の道路関係3事業などの大型事業は、市の都市基盤の整備充実に必要な事業ですので、推進に努め、

ほしい、お困りごと相談を受けてほしいなど多岐にわたっています。ただ、市民の視線は、投票率の低さから関心度の低さが明らかになっていることも現状です。

今一度、議会の使命と市民の声なき声をどう聴取していけばよいのか念頭に置きながら、議会の日常活動をさらに広報していく所存です。また、市民の声が

桐生市との共同4事業は、今後取り組みを検討することになります。

魅力ある議会づくりや、議会改革などの課題も議会としてワンチームで取り組み、みどり市発展に努める所存です。

しっかり届き、市民からさらに信頼される、みどり市議会議員18名の議会活動を円滑に推進していくよう、議長を中心に進めてまいります。